

詩『返事』

窓辺の鉢に
昨日までなかった芽が出た
小さな緑に向かって
おはようと言うと
風がカーテンを揺らした
返事のように

鑑賞文を読み取る

問1 鑑賞文として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。 発展

上の詩『返事』を読みなさい。この詩の鑑賞文として最も適切なものはどれですか。

ア『おはよう』『返事のように』という表現から、芽や風を身近な存在として受け止める話し手の自然への親しみが表れている **イ** 私は植物を育てたことがあるのでこの詩が好きだ **ウ** この詩は六行で書かれている

問2 鑑賞の根拠となる表現を抜き出さない。 発展

『風をまるで話し相手からの返事のように感じている』という鑑賞の根拠となる表現を、詩『返事』から抜き出さない。

根拠を探す

問3 当てはまる表現を抜き出さない。 発展

詩『返事』で、芽が出たことが新しい変化だとわかる一行を抜き出さない。

問4 正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。 発展

詩『返事』で、話し手と自然との距離が近く感じられる理由として最も適切なものはどれですか。

ア 芽に『おはよう』と話しかけ、風を返事のように受け止めているから **イ** 鉢の大きさが詳しく書かれているから **ウ** 窓の外の天気の説明されていないから

鑑賞文を完成させる

問5 空欄に入る内容を書きなさい。 発展

次の鑑賞文を完成させなさい。『昨日までなかった芽が出た』という表現から、話し手が_____ことが伝わる。

問6 自然な鑑賞文になるように並べなさい。 発展

次の三つを自然な鑑賞文になるように並べなさい。

ア 自然への親しみが感じられる **イ** 『返事のように』という表現から **ウ** 風の動きを返事として受け止める話し手の

自分で鑑賞する

問7 四十字から六十字程度で書きなさい。 発展

詩『返事』について、作品中の表現の一つを取り上げ、その表現から感じられる話し手の心情や作品の印象を書きなさい。